



10 後援会だより

Oct 2018 Vol. 37

1年生保護者会の開催

学生指導課長 大坪 祥子

後期が始まりました。後期もよく学び、また秋の忍ヶ丘祭では学友と共に楽しみ、学生生活を充実させて欲しいと願っています。

さて、下記の日程で1年生保護者会を開催いたします。入学して、半年が経過し、これまでの学校での様子やこれからの学びについて質問や願い等があることと思います。参加いただき、これからも共に支援していけたらと願っています。お忙しい中とは思いますが、出席くださいますようお願いいたします。

日時:平成30年10月27日(土) 受付:8時30分～
場所:宮崎学園短期大学

「就職活動」もうひと頑張り

就職指導係長 田村 広美

現代ビジネス科の学生は、3月から始まった就職活動も山場を迎えようとしています。

また、保育科学生も夏季休暇中に園見学や体験実習を行い、就職したい園を見つけ、就職試験に臨みます。

就職率が良くなっているとはいえ、厳しい就職戦線を打破するには、積極的な就職活動しかありません。私達も全力でサポートしていきます。もうひと頑張り、前向きに活動していきましょう。

平成30年度 後援会役員会報告

去る7月21日(土)、新たに8名の役員を迎え、平成30年度後援会役員会が開催されました。役員紹介の後、本学役員から、各学科の現状並びに学生生活等について報告がありました。

新役員

【会長】矢田千賀 【副会長】細山田恵美子、白石知子 【顧問】宗和太郎
【理事】速見裕二、松永喜代美、中武咲子、久保良一、野崎豊子、原田真理
【会計】塩川順子、高橋明美 【監査】谷口智三子、川野加代子
【書記】保明洋子、上米良安香



保育フェスティバルのご案内

第1回 平成30年10月20日(土) 10:15～12:30 本学/国際交流センター(秋の忍ヶ丘祭同時開催)

第2回 平成30年12月 1日(土) 10:00～15:00 イオンモール宮崎(イオンホール)

保育フェスティバルは、乳幼児とその保護者を対象にしたイベントです。0・1歳児のコーナー、2歳以上児のコーナーに分かれて、本学の学生が楽しい遊び場を用意してお待ちしています。音楽遊びや制作コーナーなどたくさんのプログラムを準備しています。第1回目は秋の忍ヶ丘祭期間中に本学で行い、第2回目はイオンモール宮崎(イオンホール)で行います。入場は無料で、参加の申し込みは不要です。皆様のご来場をお待ちいたしております。



推薦入試以降の入試及び専攻科入試日程

入試区分	推薦入試 指定校推薦入試 社会人入試(一期)	一般入試(一期) 大学入試センター試験利用入試(一期) 社会人入試(二期) 外国人留学生入試・帰国子女入試	一般入試(二期) 大学入試センター試験利用入試(二期) 社会人入試(三期)
		専攻科(四期)入試	専攻科(五期)入試
出願期間	平成30年 10月25日(木)～11月6日(火) 12時必着	平成31年 1月9日(水)～1月25日(金) 12時必着	平成31年 3月4日(月)～3月18日(月) 12時必着
試験日	11月13日(火)	2月1日(金)	3月22日(金)
合格発表	11月26日(月)12時発送	2月13日(水)12時発送	3月25日(月)15時電話連絡後発送
入学手続締切	12月10日(月)12時必着	2月26日(火)12時必着	3月29日(金)12時必着

※大学入試センター試験利用入試では本学独自の試験は課しません。 ※専攻科入試(四期・五期)は定員に欠員がある場合のみ実施します。

無料

JR清武駅 ↔ 短大 通学シャトルバス運行!



まつりえれこっちゃんみやざき

結論は言うべからず、気づかせるべし。

教育とは「正しいことを教え、実行させること」だと考える<素人考え>の人がいる。大人が正しいことを教えて、子どもが実行してくれるなら、教育はかなり簡単な仕事になる。「喧嘩はしてはいけない」「意地悪はしてはいけない」と教えることで、世の中の大半のトラブルは解決しそうである。問題は次のようなことにある。

子どもが勉強しようとしていた所に、親から「勉強しなさい」と言われると、途端にやる気が失せる。

子どもが親を手伝おうと思っていた所に、親から「お手伝いしたら」と言われると、途端にやる気を無くす。

親は思う。「私、何か間違ったこと言ってる?」

親は正しいことを教えているし、子ども自身もそうしようと思っていた「正しい結論」であるにもかかわらず、「正しい結論」を他人から言われた途端、やりたくなくなっている。

正しい結論にも、2種類ある。1つは「好きなやりたくなる」正しい結論、もう1つが「嫌いなやりたくない」正しい結論である。同じ結論でも、自分が見つけると「好き」になるが、人から言われると「ムカつき嫌い」になる。

子どもに勉強させたいときに「勉強しなさい」と言えば、やる気を無くす。ではどうしたら良いのか?

「どうしたいの?」「どうなりたいの?」「どうなると思う?」と考えさせ、相手に正しい結論を言わせるのである。(あっ、もしかして私「結論」を言ってる!?)

事ほどさように、結論を押しつけがちな私達である。気づかせる一手間が、教育の一手間である。一手間加えて、「正しい結論」を実行できる人に育てたい。

「10年後、どんな人になっているかな?」

「何に困ると思う?」

結論は気づかせるべし。

ただし、人から言われる「正しい結論」を受け入れられる謙虚さも育てなければならない。



学長 宗和 太郎

学生の努力と輝き

保育科 幼稚園実習報告

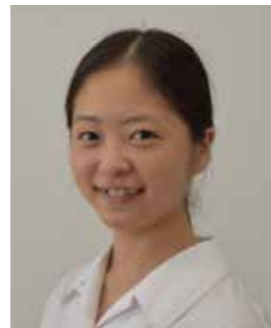
保育科2年 青柳 里歩

保育科2年生は3週間にわたる教育実習を終了いたしました。

私は4歳児クラスを担当させていただき、4歳児の特徴や係わり方について学びました。集団で遊べるようになるとともに友達同士でのトラブルが増え、喧嘩の対応に困りましたが、指導担当の先生は子ども達で話し合えるように導きながら、見守っておられました。また、友達の中で支援が必要な子どものお手伝いを進めるなど、相手の気持ちを考えて思いやることができるようになる年齢だと感じました。

保育に関する活動の先を見通して行動することは現在の自分では難しいと感じましたが、子ども達が戸惑ってしまわないための大切なことであることを学びました。

今回の実習で得た沢山の学びを次の実習に活かし、これからも充実した日々を送りたいと考えています。



保育科 安井息軒記念館を見学して

保育科1年 野崎 光希

宮崎を代表する偉人「安井息軒先生」の記念館を見に行きました。小学生の時から安井息軒先生について学んだことはありましたが、大学生になって学んだら以前よりもさらに深く、とても興味深く学ぶことができました。

学者、教育者として学派の場の偏った研究ではなく、儒学や法家の思想、さらには洋学についても幅広く深く研究した知の巨人で、今日のような確固な法治国家、新国家建設の素地を作ったり、清武の「明教堂」 飢肥の「振徳堂」江戸の「三計堂」そして「昌平坂学問所」で藩や郷土、国を支えるおよそ二千人の優秀な人材を育てたり、安井息軒先生は今の私たちから考えると、とても凄い人だと感じました。

そのような素晴らしい人が、この忍ヶ丘の地に、そして清武町に住んでいたことをしり、感動するとともに、この忍ヶ丘の地で学べることを誇りに思いました。



現代ビジネス科 企業実習Iを終えて

現代ビジネス科1年 長田 彩奈

私が今回インターンシップでお世話になったところは、社員20名くらいの建設業を中心とする企業でした。仕事内容は、建築にかかわる仕事を幅広く取り扱っており、一昨年から福祉用具も取り入れていました。私は、毎日違う部署を回り体験させてもらいました。建設業は初体験であり、分からないことばかりでしたが、そのたびに丁寧に説明して頂き、学ぶことが多くありました。お客様との会話や契約会社との打ち合わせなど、現場での仕事を通して、積極的に話すことや行動することが大切だと感じました。そのためには、今現在だけを考えるのではなく、先のことを考えどうすればその人の役に立つのかなど、全体を見渡せるような目や気配りを養うことが必要だと感じました。これらのことを踏まえて、今後の授業や就職活動に活かせるよう努力していきたいと思います。



現代ビジネス科 医療機関実習IIにむけて

現代ビジネス科2年 堰口 葵衣

医療機関実習Iを通して学校での勉強とは違った新鮮なものをたくさん見ることができました。初めての実習でとても緊張をしていました。そして医療に関する知識など大学で学んだことは理解しているつもりでしたが、しかし、実習中では分らない用語が出てきたとき、緊張して疑問に感じたことやわからないことに対しての質問ができませんでした。そんな私に指導を担当して下さった方が、「落ち着いて一つひとつの業務を丁寧にいけばいいからリラックスして行ってください」と言ってくださり、落ち着いて業務に取り組み、わからないことは質問をして、実習を行うことができました。医療機関実習IIでは、カルテ作成や医療秘書の業務といったさらに実践的な実習を行います。初めて行う業務にも積極的に取り組み、さらに周りの状況を感じながら機敏に行動したいと思います。医療機関実習Iの反省点を活かして事前準備をしっかり行いたいです。そして、病院事務職をして必要な知識・能力を身に付けることができるように頑張りたいと思います。



専攻科(福祉専攻) 専攻科カフェに参加して

保育科2年 高野 謡子

7月18日に開催された専攻科の学生による専攻科紹介の場である専攻科カフェでは、先輩方と楽しくお話しさせていただきながら過ごす事が出来ました。話をすることで、専攻科の授業の内容や実習における日誌の書き方等、聞きたかった事について詳しく聞くことが出来ました。また、専攻科棟にある演習室を見学し、実際に椅子を使っての体験もすることが出来ました。

このカフェでは、保育科とは違った分野でも目標に向かって頑張っている先輩たちの姿が印象に残りました。私自身も専攻科に進学することが決まっています。専攻科カフェの参加を通して益々専攻科で学ぶ意欲と楽しみが大きくなりました。



専攻科(福祉専攻) 『専攻科カフェ』を終えて

専攻科 田之上 耀

今回のカフェには82名もの保育科生が来てくれ、楽しく貴重な90分となりました。

まず教室では、少しでも魅力を伝えられるよう、お茶を飲みながら授業や実習などの話をしました。自分の経験を伝えると、大変真剣に聞いてくれました。次に演習室では、実際の道具に触れてもらい使用方法などを説明しました。積極的に質問してくれる人もいて、後輩達に伝えることで自分の自信につながりました。

専攻科のことばかりではなく、保育科の卒業生としても相談やアドバイスなどをすることができ、同じ短大の学生としてもっとこのような交流の場が増え、活気あふれる日々になるといいなと感じました。そして、保育科生の進路選択の幅が広がり、不安をかかえている後輩達の力になることができたらいいと思います。

専攻科に入学する学生が増えることを楽しみにしています。

